

広報

No. 113

くまがた

昭和57年11月15日

発行・編集 国見町企画課

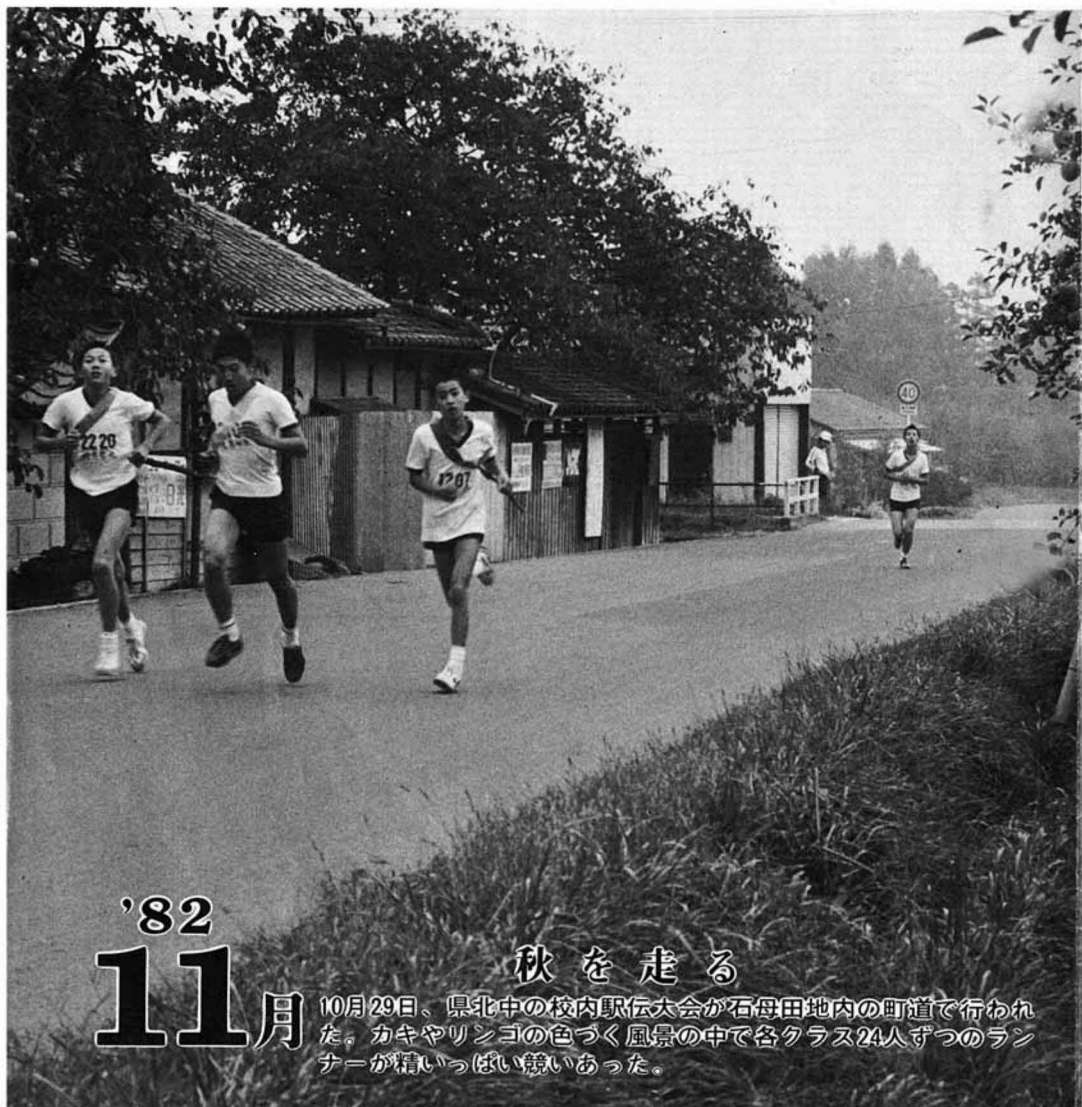
おもな内容

町政功労者を表彰……………2

公立藤田総合病院増改築が完成…4~5

あの人この人……………6  
—菊地 光二さん—

公民館だより……………8~9



'82  
11月

### 秋を走る

10月29日、県北中の校内駅伝大会が石母田地内の町道で行われた。カキやリンゴの色づく風景の中で各クラス24人ずつのランナーが精いっぱい競いあった。

# 町政功労者を表彰

本町監査委員ら十名が受賞



▲晴れの受賞者の皆さん

昭和五十七年度の町表彰式が十一月四日、町公民館で行われた。今年、功労表彰として、監査委員を長く勤めている本田吉助さん、学校教材にと高額寄附をした中山隆さんから六名が受賞、善行表彰は、納税貯蓄組合長の吉川弥吉さんと人命救助をした安孫子清さん外二名に贈られた。安孫子さんは四月二日に親月台沼で溺れた幼児を助けたものである。町発展のため、それぞれの分野で尽力されてきた受賞者一人一人に佐藤町長から表彰状と記念品が贈られ、功績がたたえられた。

受賞者の皆さんには、今後も引き続き国見町発展にご尽力くださるようお願いしたいものである。

受賞者は次のとおり(敬称略)

## 功労表彰

- ▽本田吉助(監査委員・六十歳)
- ▽大沼啓三(消防団員・五十一歳)
- ▽安藤正三(消防団員・五十二歳)
- ▽井砂研二(町職員・四十七歳)
- ▽佐藤軒二(町職員・四十九歳)
- ▽中山 隆(高額寄附者・五十七歳)

## 善行表彰

- ▽吉川弥吉(納税組合長・六十三歳)
- ▽安孫子清(人命救助・五十八歳)
- ▽羽根俊一(人命救助・三十四歳)
- ▽八巻忠義(人命救助・三十四歳)

## 樋口弥太郎さんに勲五等双光旭日章



▲喜びの樋口さんご夫妻

塩販売事業と消防活動に貢献

菊薫る十一月三日、秋の叙勲に樋口弥太郎さん(大町北・七十二歳)が勲五等双光旭日章を受章しました。

以来豊富な消防体験を活かして、予防消防の推進と、施設の整備拡充に努力しています。

樋口さんは、福島県塩販売連合会副会長として、専売公社の事業協力と、町消防団長として永年にわたる、町の消防活動につくされた功績によるものです。

そのほか、町防犯協会の副会長として、青少年の健全育成と地域部落、家庭との連絡協調のため、防犯連絡所の設置、春秋の明るい祭典の実現など、労を惜みず社会活動を行っています。

昭和十年十一月一日藤田町消防組消防手を拝命以来四十七年間、職責の重さを自覚し、常に研さん努力を惜みず、信頼される消防として職務を遂行してきました。

樋口さんは、「このような栄ある叙勲を受章したことは、団員はもとより、町のみなさまのお蔭でございます。今後ともお一人一層の精進を心掛け、生きていく限り、忠実に奉仕活動を行なっていきたいと思っております。ありがとうございます」と語っていました。

警防団、消防団方部団、町消防団と組織の推移を体験し、昭和四十四年国見町消防団長に就任して

# 佐藤孝之君に知事賞

## 県統計クラフコンクールで

統計に関心を持ってもらおうと福高県が毎年実施している統計クラフコンクールに、今年町内小学校の児童二十九人が出品したところ、そのうち十七人が四百十九点の応募作品の中から入賞するといふ輝かしい成果を挙げました。

しかも、小学校低学年の部門では、小坂小二年の佐藤孝之君がトップの知事賞、高学年の部門では、藤田小四年の城田由里さんが県教育長賞、同五年の平桂子さんが県統計協会会長賞といった上位三位までの賞を獲得する立派な内容でした。

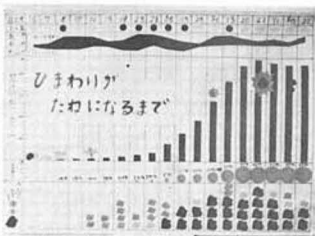


▲友田副知事から賞状を受ける孝之君

十月二十日、須賀川市文化センターで開かれた第三十二回県統計大会の席上二八人に賞状と記念品が授与されました。特に、「ひまわりがたねになるまで」を出品し知事賞を得た孝之君には、友田副知事から直接手渡され、会場いっぱい出席者から万来の拍手が送られていました。

なお、学校賞としても小坂小学校が優秀校賞、藤田小学校が奨励校賞を受けました。

日ごろの私たちの身の回りの動きを統計的にとらえ、具体的にグラフで表現し、人々に訴えるのが



▲知事賞を受けた孝之君の作品

統計グラフです。ぜひ、来年も申し込みと応募してください。

入賞者は次のとおりです。

◆知事賞 佐藤孝之(小坂小二年)

◆努力賞 曳地晴美(藤田小三年)

◆努力賞 鎌水由美(同三年)

(小学校低学年の部)

◆教育長賞 城田由里(藤田小四年)

◆協会会長賞 桂子(同五年)

◆佳作 鴨田香織(小坂小六年)

阿部正行(藤田小四年)

舟山恵美子(同四年)

佐久間真理子(同四年)

高原敬子(小坂小六年)

小出ちか子(同四年)

佐藤いずみ(同四年)

青木亜希子(藤田小四年)

佐藤克彦(同五年)

飯塚佳織(同六年)

平加代(同六年)

阿部浩征(同六年)

◆努力賞

(小学校高学年の部)

## 県北中、駅伝大会で健闘

### 郡で優勝、県大会で第九位

昭和五十七年度伊達郡中体連の駅伝競争大会で県北中Aチームが初優勝した。

これは、九月三十日、伊達町の阿武隈畔のサイクリングロードをコースに取り、八中学校から出場した十三チームで競を競つた大会。強敵の梁川中チームの六連破をほばんでの栄冠だけに喜びは大きい。しかも、八区間

のうちの五区間で最高記録を出す見事な成績だった。三十二キロ通算タイムは、一時間54分31秒。十月二十二日には、西郷村で開かれた県大会に、伊達郡代表として出場。そこでも二十八の強豪チーム中第九位に入る健闘ぶりを示した。

前任地の梁川中で強いチームを育て、二年目の県北中では今回の成績をもたらし指導者の池田光雄先生は「全体につぶがそろったいいチームだった。」



▲池田先生と出場メンバー

県大会は初出場なので中位に入れたいが、今までの那代表以上の成績を残せてうれいと、語っていた。出場選手は次のとおりである。

▽高野輝男▽山田徹▽奥村則男▽稲村貴史▽国分政勝▽松浦弘幸▽佐藤公彦▽斎藤長一(以上年生)

▽高原逸▽佐藤昭保(以上一年生)



▲待合室も広々と



▲完成した新棟

# 公立藤田総合病院

～増改築事業が完成～

昭和五十六年十月に着工した公立藤田総合病院の増改築事業がこのほど完成した。病床数の増加、最新の医療器械の導入、さらには脳神経外科の開設など医療システムが一層と充実した。増築面積は、六千四百三十二平方メートル、四階建の新棟が現病棟の前に完成した。一、二階は外来診療室と管理事務室、三、四階が病室である。また、改築面積も二千三百三十一平方メートルを数え、待合室、薬局、事務室、医療機械室が広々と改築された。

事業費は、医療機械などを含め約一十二億五千万円である。財源内訳は、約六七％の十五億円が国民年金還元融資、約六千四百万円が国庫補助金、残



▲手術室も新しく

昭和五十六年十一月六日現在の子定者は次のとおりです。氏名に誤りや記載もれがあれば教育委員会までお知らせください。

◆藤田地区 67名(男34・女33)

舟山 富士男 穴戸 祐一  
 秦 研治 三瓶 雅敏  
 谷津 光昭 平野 周二  
 鈴木 雄一 舟山 広基  
 鶴上 俊之 山田 淳  
 鴨田 伸一 鈴木 俊一  
 武田 寛昌 後藤 実  
 須田 浩市 川博 之  
 佐藤 武徳 八藤 博久  
 安藤 政徳 加藤 幸夫  
 黒田 智志 穴戸 幸夫  
 高橋 一弘 阿部 勉

◆小坂地区 12名(男9・女3)

若生 敏江 長尾 弘美  
 片平 達也 斎藤 ゆり子  
 瀬野 幸雄 横村 春樹  
 紺野 良夫 新山 浩  
 朽木 雅彦 斎藤 淳  
 山田 勇一 鴨田 善行  
 山田 俊一 鴨田 善行  
 鈴木 敦子 佐久間 恵知子  
 横村 久美子 佐久間 恵知子  
 山田 ゆかり 八巻 早苗  
 山田 幸枝 谷津 恵子  
 松浦 ミヨ 谷津 恵子  
 本間 恵子 菊地 美智子  
 佐藤 久美子 斎藤 由美子  
 阿部 幸枝 富永 晃子  
 木村 明美 富永 晃子  
 野村 治美 黒岩 ゆり子  
 山田 恭子 佐藤 香代子  
 山田 幸枝 舟山 春美  
 松浦 幸枝 富永 晃子  
 阿部 幸枝 富永 晃子  
 野村 治美 黒岩 ゆり子  
 斎藤 由美子 安藤 園子  
 高橋 裕子 佐藤 満由美  
 阿部 順子 佐藤 満由美  
 阿部 順子 佐藤 満由美  
 高橋 裕子 佐藤 満由美  
 松浦 敏子 内池 道代  
 渡辺 洋孝 菅原 章夫  
 高橋 洋孝 菅原 章夫  
 穴戸 喜幸 赤坂 好範  
 澁谷 将信 石川 好範

昭和五十七年成人式

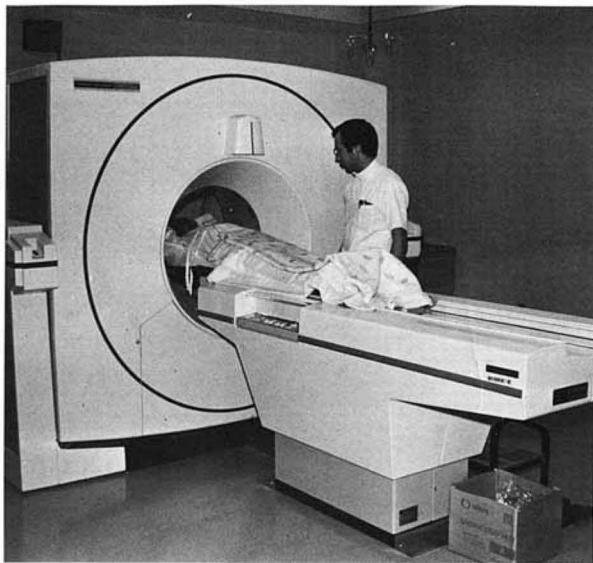
来年一月十五日に成人式

はたち

来年一月十五日の「成人の日」には町の成人式が公民館で行われます。

対象者は、昭和三十七年四月二日から三十八年四月一日までに生まれた方で、町内在住者です。ただし、希望すれば当町出身の町外在住者でも参加できます。早めに教育委員会に申し込みください。

〇二一



最新の医療機械、脳血管撮影装置

## ますます充実

り六億八千八百万円が一般財源だ。  
この事業の完成で病床数は八十増え  
四百二十九床、手術室も五に、開設科  
も新たな脳神経外科を加え十三科にな  
った。泌尿器科も近々開設される。ま  
た、全身用コンピューター断層装置、  
脳血管撮影装置、天井懸架式手術用顕  
微鏡システムといった、県内の病院で  
も数少ない最新の医療機械も取り入れ  
られた。  
このように充実し、機能を高めた公  
立藤田総合病院は、地域医療の担い手  
としての役割をさらに深めた。



コンピューターで全身の断層を撮影する  
県内でも数少ない装置(上)  
映像は隣室のテレビで(右)

### ◆森江野地区27名(男9・女18)

- |         |        |
|---------|--------|
| 八巻 昭一   | 佐藤 善浩  |
| 佐久間 正明  | 八巻 信詞  |
| 菊地 隆一   | 佐藤 善成  |
| 斎藤 忠良   | 佐久間 弘美 |
| 大波 惠美   | 村上 みちえ |
| 大波 朱美   | 三の輪 京子 |
| 佐藤 幸子   | 実 沢 祐子 |
| 実 沢 三和子 | 佐久間 育子 |
| 佐藤 由美子  | 吉田 幸子  |
| 佐藤 宏子   | 八巻 輝子  |
| 佐藤 文子   | 佐藤 史子  |
| 徳井 由紀子  | 酒井 和子  |
| 後藤 靖子   |        |

### ◆大木戸地区20名(男12・女8)

- |       |       |
|-------|-------|
| 松浦 進  | 後藤 義弘 |
| 八島 享  | 佐藤 忠美 |
| 松浦 政光 | 岡田 重光 |

### 成人式の服装は 質素にしましょう

国見町新生活運動推進委員会

合計134名(男69・女65)

### ◆天枝地区 8名(男5・女3)

- |        |        |
|--------|--------|
| 鈴木 洋一  | 鈴木 英二  |
| 鈴木 弘明  | 松浦 護   |
| 鈴木 秀子  | 岩城 健一  |
| 佐藤 惠美子 | 吉田 まゆみ |

「ことば」は、時とともに変わる生きものだ。本来、ひとつの意味を持つことばが転用され、あるいは誤用もされ、いろんな使われ方をするようになる。

## ことば

長い時間がかかっている。流行ことばのように、むやみにつくられたのではかかわない。次の例は最近よく使われるもの。耳障りである。  
●見れる／着れる／全然きれい／美しいです／荷を届けるまい／あ

客はお断わり／有無／従三位／出納  
●最後に「結婚は人生の墓場」は「恋愛の墓場」の誤用だが、誤用の方が説得力があるのでは？

の人は来まい／気のおける店で楽しく／失敗する可能性／流れにさおさす反骨漢／役不足でも努力して追いつく／デッドロックに乗り上げる／凡ヘッド



秋の全国火災予防運動  
11月26日～12月2日

### 昭和五十七年 秋期全国火災予防運動

「火の用心・  
心で用心・目で用心」

- 実施期間  
昭和五十七年十一月二十六日から  
昭和五十七年十二月二日まで
- 主 唱  
福島県・国見町・伊達地方消防  
組合・国見町消防団

### 国の進学ローンの ご案内

- ご利用いただける方  
五十八年春に進学されるお子様  
をお持ちの方におすすめいたしま  
す。
- ご利用いただける方  
高校・高専・短大・大学・専修  
学校などに進学する生徒の父兄  
で年収入六〇〇万円以内の方  
(事業所得者の方は四四〇万円  
以内)
- ご融資額

- 一進学者あたり五十万円以内
- 融資期間  
進学する学校の修業年限以内  
(最長四年)
- ご希望によりこれらの期間内で  
一年以内の据置きもできます。
- 利率 年八・四割以内
- 保証人 一名以上
- 返済方法 毎月元利均等返済  
ご希望によりボーナス月(一月  
七月)増額返済も併用できます。
- 取扱期間  
五十七年十一月～五十八年四月
- 取扱窓口 国民金融公庫・銀行  
相互銀行・信用金庫・労働金庫・  
農協。

※詳しいことは国民金融公庫福島  
支店 ☎二四五―二二二―三三四―  
(融資相談係) におたずねください。  
FTV  
ジュニアオーケストラ  
演奏会

- 期日  
十一月二十三日(火) に行なわれ  
ます。ご鑑賞ください。
- 時間  
十一月二十三日(火) 勤労感謝  
の日 午前十一時から十二時三  
十分まで
- 場所  
国見町体育館
- 主催  
国見町教育委員会・福島テレビ

## あの人この人 60

＝きのこ作りの名人＝

### 菊地光二さん

塚野目字沢15 (51歳)



昭和四十二年頃だった。労力配分の関係でいままでもやっていた養蚕をやめたのでひらたけの栽培書と首引きで、桑の木の残条と、抜いた桑株を輪切りにして揃えたホダ木に菌子を植えた。

何しろ今から十五年も前のことで、作っている人もなく、秋になって一斉に出て来たきのこを見て、一瞬戸惑いを感じたという。

当時は一般的に針もなく、模索の時代であった。販路も一定せず、また食べる方もきまらなかった料理方法を知らないで、販売には随分と苦勞をする。手ずる顔ずるで販路を広げ、そのかいあって現在では高速道サービスエリアを始めとして、遠くは郡山の磐光ドライブイなどでも売られている。

「きのこ類そのものは本来地下の世界なのです。縦横に張りめぐらされた菌子の良し悪しで、きのこの出来具合が違います。よいきのこを穫るには、きのこになる前の管理がいちばん大切です」。

去る十月三十一日福島県林業試験場で行われた第三十一回福島県きのこ品評会「ひらたけの部」で昨年、今年と二年連続林野庁長官賞に輝いた菊地さんの言葉である。

「原木栽培からオガクズ栽培に

切り替えた時のことです。手引書をもとに配合、消毒、植菌と一定の手順を踏んで、五月に伏せ込んだのですが、見事に失敗でやはり時期が悪かったんですね。それ以来菌菌の繁殖する節をずらし、寒の二月頃に植菌するようになった。農閑期の中にもあるし怒々ど没頭できるので、仕事の配分もうまくゆくと。

現在の悩みは、紙業界の不振のため、オガクズを集めるのに苦勞することだという。針葉樹のオガクズは駄目、必ず広葉樹でなければならぬ。もつとも適する用材は、川のくぐるみ、やなぎ、ポプラなど、近くに専門のチップ工業でもあると助かるが、今は遠く岩手県のオガクズ業者から買入れている。

菊地さんの農業経営は、田七十三アール、桃畑二十アール、それと減反した田圃に作っているひらたけ栽培の三種複合経営である。田圃の場合はそれ程手間もかからないが、九月から始めるひらたけの出荷時期には、ちよつと油断をすすと大きくなり過ぎて商品価値をなくす。時間給で近所の人のパートをお願いしている。

秋枯れの田圃に黒い寒冷紗を張ったトンネルハウスの中には、陣笠をかぶったオモチャの兵隊よろしく、雲霞の如くに群り生えるひらたけは、壮観ですらある。



### 受付中



― 県民手帳、県のすがた ―

昭和五十八年度の県民手帳・県のすがたなどの申込み受け付けをしています。残部わずかです。

◆ 県民手帳(統計資料付き) 三百五十円

◆ 県のすがた(最近の地図・統計グラフ七色刷) 三百五十円

◆ 県勢要覧(県勢がひとめでわかる資料) 千三百円

### 官民地の立入りについて

日本電信電話公社では、国見町全域の電話柱、支線建設のために官、私有地に立入り調査、測量、杭打ちを行なっています。ご協力願います。

● 測量区域

● 国見町全域

● 測量予定期間

昭和五十七年十一月八日から昭和五十八年二月二十六日まで

● 連絡先

福島市山下町五番十号

福島電気通信部線路設計課

☎(二四五)三二一七五二

### 善意の窓

#### 町福祉協議会に

◆ 佐久間弘弘さん(本町) から三万円  
円一故清さんのご遺志

◆ 古内清行さん(宮北) から三万円  
円一故清さんのご遺志

◆ 古川栄一さん・秀子さん(大町北) から三万円、社会福祉のために新婚旅行の小使いの中から

◆ 県北中学校生徒会から十二万五千四百五十五円文化祭「ザー益金と愛の小箱寄附金

◆ 県北中学校に

◆ 古内清行さん(宮北) から一万円一故清さんのご遺志

◆ 高橋芳男さん(本町) から県北中学校名入スリッパ百足

◆ 佐久間弘弘さん(本町) から三万円一故清さんのご遺志

◆ 藤田小学校に

◆ 佐久間弘弘さん(本町) から三万円一故清さんのご遺志

◆ 古内清行さん(宮北) から一万円一故清さんのご遺志

◆ 藤田幼稚園に

◆ 安藤良一さん(前田) から二万円一故叔父徳四郎さんのご遺志



▲社会福祉にと佐藤生徒会長から波部助役に

### 今月の納税

固定資産税

西根堀土地改良区費

伊達西部土地改良区費

四期

後期

後期

### 心配ごと相談日

場所: 役場二階相談室(東側入口からお入り下さい)  
時間: 9時~12時  
ごまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対守ります。

[相談員]

11月25日(木) 豊地善作・渡瀬貞子  
12月4日(土) 佐久間久弘・佐藤マサイ  
12月15日(水) 樋口弘・朝内ひで

### 国税だより

#### 青色申告で正しい記帳を

記帳を



商売などをしてる人は、自分の所得を正確に計算するために、毎日の取引をきちんと記帳しておくことが必要です。

このため、きちんと帳簿をつけ正確な所得や税額を計算して申告する青色申告者は、所得の計算上いろいろ有利な取扱いが受けられることになっています。

あなたも青色申告で正しい記帳を!!

### こよみ

11月	霜月(しもつき)	12月	節走(しわざ)
19日	農協記念日	1日	満月
21日	寄生虫予防運動始まる	4日	人権週間
23日	勤労感謝の日・小雪	7日	大雪
26日	火災予防運動始まる	8日	こと納め、針供養
28日	税関記念日	10日	世界人権デー

### 歳時記

#### 枯野 かれの

草が枯れ、虫の音も絶えた冬の野はしようじょうたる眺めである。枯野の景はさまざまで、海沿いの野、白々と街道のつらなる野、また、雨の枯野、夕づく枯野など、それぞれに趣きがある。  
旅に病で夢は枯野をかけ廻る  
大とこの翼ひりおはす枯野かな 蕪村  
枯野にて悲歌奏でいづ宣伝車 移公

# チーム 続制覇 駅伝競争大会



▲よし やったる♪ (一斉スタート)

十一月七日、曇天のもと第六回町内一周駅伝競争が中学校二チームを含む十三チームによって、覇を競った。  
午前九時開会、大会長(教育長)のあいさつ、来賓の町長、玉手昭市文政厚生委員長の祝辞があり、続いて前年優勝の小坂チーム代表



国見町公民館  
電(公) 2676  
話(有) 4156

▼開会式



▲パパが早く来ないかな

## 運動会に宝袋

十月十日に行なわれた高齢者と婦人運動会に町商工会婦人部から毎年宝袋が協賛されています。運動会では、高齢者の皆さんも楽しみにしたプログラムの一つです。今年も、童心にかえり宝ひろいをやりました。



▲どちらがいいかな

## 文化団体紹介

### 手芸クラブ

私達のクラブは、町民学校の手芸教室より引継いで結成したものです。会員は、現在十一名。

学習日は、毎月第二、第四土曜日の午後二時から四時迄となっています。

風呂敷や、着物、洋服の糸り布等を利用して作製しています。

小さなようじ入れから贈り物として好評のティッシュ入れ、大きな旅行バックやハンドバック類等時間のたつのも忘れてみんな夢中になってやっています。

出来上がった時の嬉しさは作った人でなければ分からない充実感があります。

作品は、交化祭に出品しております。

高橋不二子先生の親切な指導のおかげでみんな楽しく袋物づくりに張切っています。女の人なら、どなたにでも出来る楽しみのあるクラブです。よろしければ、学習日に公民館迄お気軽におこしください。私達のクラブは、お勤めの方たちのことも考えて土曜日の午後とされています。

手芸クラブ会長、渡辺テル子





# 小坂 3年連 町内一周



瀬戸良夫選手の力強い選手宣誓、午前十時三十分、町長の号砲一発で一斉にスタートした。収穫の終わった町内三・一kmのコースを各チーム健脚を競った。沿道には、多数の町民の方が出てさかんに声援をおくっていた。



▲栄光のゴールに



▲ひたすら走る

▲あとは頼むぜ、

- 一般の部
- 優勝 小坂チーム 1時間22分51秒
  - 準優勝 石母田チーム 1時間23分22秒
  - 第三位 滝川チーム 1時間24分16秒
  - 第四位 大木戸Aチーム 1時間24分17秒
  - 優 勝 県北中Aチーム 1時間21分17秒
- 区間賞
- 一区 佐藤 武徳(石母田)
  - 二区 野村 伸一(滝川)
  - 三区 菊地 正道(石母田)
  - 四区 鴨田 精一(小坂)
  - 五区 熊坂 哲男(小坂)
  - 六区 秦 豊光(源宗山)
  - 七区 菊地 喜伸(石母田)
  - 八区 安藤 信男(小坂)
  - 九区 後藤与志男(小坂)
  - 十区 瀬戸 良夫(小坂)

## 案内コーナー

### 生活文化講演会

国見町新生活運動推進委員会で、地方の生活文化(風習)の移り変わりを、伊達町箱崎福蔵寺住職石井祐澄先生の講演を予定しております。

日時 十一月二十六日  
午後一時三十分

場所 国見町公民館

楽しいお話しが聞かれます。

皆さんお誘い合せのうえおこしください。

### ゲートボール

#### 愛好会誕生

ゲートボール教室卒業生により愛好会が発足。

### 文芸欄

#### あつかし俳句会

父母の忌や満天星の紅極まれり  
草は実には辻の地蔵の古りにけり  
白壁の見えがくれては柿熟るる  
背戸畑の豆夕月となりにつけり  
風吹いて前山紅葉きらきらす  
老婆のしぐさ細やか秋さくら  
秋の天牛入ばさみを失いぬ  
老夫婦裏に数珠玉干してあり  
がそえつつ鳥居くぐれば秋の風  
雨蛙桔梗に宿り神無月

- 奥山 甲二
- 奥山 雨田
- 藤田 勝衛
- 佐久間山月
- 加藤 痴仏
- 須田 泰山
- 熊坂 きよ
- 赤間はる子
- 高橋 仙子
- 齊藤 山水

皆さんも、体力づくり、健康増進のため加入してみませんか……練習日は、毎月一日、十一日、二十一日の三回。

時間は、午後一時三十分から公民館前の広場。

会費は、年額一五〇〇円

入会を希望される方は、公民館へ申し込みください。

役員は次の方々です。

会長 佐藤元一氏、副会長 長玉忠一氏、庶務 阿部文夫氏、佐久間いち氏、会計 佐藤和次氏

### 図書寄贈

山崎の佐久間勝子さんから子供文庫にと、とうさんの手、外四十三冊が寄贈されました。

この本は、さっそく公民館の児童図書として活用されました。ありがとうございました。



### 青少年健全育成の

### キャラバン隊が役場訪問

十一月は、青少年健全育成月間である。十一月四日、健全育成に十分取り組みたいとの、総理大臣および福島県知事のメッセージを持ったキャラバン隊が佐藤町長を訪問した。

菅野恒光さん(保原町)からは総理大臣の、大槻直子さん(福島市)からは知事のメッセージが読み上げられた。これに対し、佐藤町長は、「非行防止にとどまらず、

将来を担う青少年の健全育成に積極的に取り組み運動を展開したい」と述べた。菅野さんらは、この力強いことばに意を強くし次の訪問先に向った。



▲健全育成を願って訪問

### 栄光の絵巻

—東日本駅伝競走—

東北新幹線開通記念として、八年ぶりに復活した第二十五回都道府県対抗東日本縦断駅伝競走大会は、盛岡―東京間六〇・五・七キロを五日間にわたり、栄光のゴール目指して健脚を競いました。

十一月三日に、盛岡駅前をスタートした選手たちは、一路、もみじ緩なすみちのく路を南下し、大会三日目の五日午前十四時四十八分駅伝ドラマの主役たちが、しっかりと福島県土を踏みしめました。

この日は、あいにくの小雨模様、どんよりとした寒空にもかかわらず藤田中継所前の沿道には、数百人のファンがおし寄せ、手に手に小旗を振って出迎え、つぎつぎと



▲8年ぶりに復活した駅伝

### 編集日記

○快晴にめぐまれて、今年も文化祭は賑わいのうちに終了をつけた。出品された作品は、幼稚園からおとしりまで、どれをみても自然がよく観察されていて、いずれも見事な出来映えであった。

○錦繡の秋といわれるように、今を盛りと紅葉が野山を埋めつくしている。いまごろはさぞかし催しめじの最盛期だろうかとんと山野を散策する機会がないのは残念なことである。

○わたしたちは、家や会社の窓から毎日眺めつづけている自然は、たとえ絵は描けなくても、目を閉じると、さうゆう景色がありありと思ひ浮かぶのに驚くのである。

○たぶん細かいところは忘れているにしても大きっぱな姿かたちは心に描いているのだ。しかしま目を開けてみよう。実際の景色が鮮やかに現れ、心がわくわくする。

○いつも小さなルーペをポケットに入れて歩くことを掛けてみよう、それも普通のレンズでなく倍率十倍ぐらいのものがよい。

○忙しい毎日ではあるが、野辺に咲くありふれた花でもいい、小さな昆虫でもいい、目にとまるものを静かにレンズを通して見てみよう。うれしくなることもめづらしくないから。

### 戸籍の窓口

(受付) 10月

おめでとごさいませす  
出生おめでとごさいませす  
子景和奈美吉修善理大明征明明千まゆ豊辰  
子明美彦範一之恵樹美入菓子秋み徳

ご結婚おめでとごさいませす

高本 野田戸宮田邊藤野葉川野川田橋澤  
高本 野田戸宮田邊藤野葉川野川田橋澤  
高本 野田戸宮田邊藤野葉川野川田橋澤

おくやみ 申し上げます

山田間地木野内口  
山田間地木野内口  
山田間地木野内口

### 人口と世帯

11月1日現在(前月比)10月中のうごき

男	5,911人 (+14)	転入	35人
女	6,258人 (+11)	転出	19人
計	12,169人 (+25)	出生	18人
世帯数	2,862 (+2)	死亡	9人